

四賀公民館報

第321号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,946	世帯
人口	4,477	人
男	2,164	人
女	2,313	人

(平成31年3月1日現在)

さようなら平成 四賀地区の30年を振り返る 変わりゆく四賀地区

4月30日に天皇陛下の退位の儀が行われ、平成が終わります。そこで、四賀地区の平成の30年を振り返ってみたいと思います。四賀村の時代から、平成17年4月の松本市への合併を経て、四賀地区はどのように変遷してきたのか、主な出来事を考えてみました。

四賀にきましょ

「里山をめぐる、あそぶ、あじわう」をコンセプトに「四賀にきましょ」が活動して七年、四賀地区に点在しているカフェなどを舞台に、四賀内外の有志による体験講座や飲食を通じて、四賀をアピールしてきた。その効果で年々四賀の認知度が高まり「四賀が熱い」と言われるようになった。今後注目していきたい。

殿村遺跡発掘・保存

平成二〇年「殿村遺跡」が発見され会田氏の居館跡か？と思われたが、周辺実地調査も終了した今、結論はまだ出ていないが、宗教施設の跡と考えられている。虚空蔵山は山岳修験場で、山麓一帯に広がる宗教空間の遺跡のようだ。この発見は史跡や文化財を見つめ直す契機になり、保存展示は観光資源となるだろう。

松本市との合併

財政危機と人口の減少から、合併特例法による財政支援を受けて、四賀村も松本市と合併をした。大きく変わったことも、あまり変化のないこともあるが、四賀は松本市になっても、独自の活動が盛んで他地区の耳目を集めている。市と一体化する中で、これからは四賀の住民としての矜持を保っていききたいと思う。

◎平成年表◎

平成	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31											
主な出来事など	今上天皇即位 平成が始まる	四賀村化石館竣工	消費税開始(3%)ベルリンの壁崩壊	アンサンブル四賀東山館 オープン	東西ドイツ統一	初めての「四賀夏まつり」開催	湾岸戦争 ハブル経済崩壊	反町住宅団地分譲 二十五倍の人口	デイサービスセンター開所	初めての「福寿草まつり」開催	クライナル起工	長野自動車道開通	松本サリン事件	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件	〇157食中毒多発	消費税が5%になる	四賀村が「ふるさとづくり」大賞「内閣総理大臣賞を受賞	長野冬季オリンピック開催	四賀下水道浄化センター完成	新会田中学校竣工 水上ダム完成	米国同時多発テロ	四賀村役場新庁舎完成	サッカーワールドカップ日韓大会	イラク戦争勃発	台風二二号で大きな被害	四賀村が松本市と合併する	トリノ冬季五輪 荒川静香が金メダル	新潟中越沖地震 郵政民営化	殿村遺跡 第1次発掘調査	リーマンショック 米大統領にオバマ氏	民主党が総選挙大勝 鳩山内閣成立	小惑星探査機はやぶさ 地球に帰還	東日本大震災 長野県中部地震	「四賀にきましょ」が始まる	四賀小学校開校 「千本松」枯れる	消費税が8%になる	四賀音楽村 発足	熊本地震 米大統領にトランプ氏当選	松本市松枯れが全国最悪になる	台風二二二号 五常地区県道崩落	会田病院が「四賀の里クリニック」へ	今上天皇退位 平成が終わる

未来へ～青木峠新トンネル

四賀地区の人口は平成二年の国勢調査の六五五八人から、今月一日の四四七人へと減少している。人口減少は全国的なものだが、四賀は顕著なようだ。人口流出に歯止めをかけ、UターンとIターンの増加を図る。国道一四三号の青木峠の新トンネル開通が起爆剤になる可能性が高い。工事の早期事業化が待たれる。

拡大する松枯れ被害

平成十二年頃、松本平で被害が開始、四賀地区にも拡大。県の天然記念物の東北山の千本松も枯れ、平成二十五年六月に伐採された。子ども頃、父に連れられて行った松茸山の赤松も長年庭師に手入れしてもらった庭の松もすべて枯れてしまった。有効な対策はまだなく、次世代への重い課題となっている。

小学校統一・四賀小学校開校

少子高齢化による児童の減少と校舎の耐震強度不足が明らかになり、四賀地区四小学校PTAによる統合検討会が平成十九年に発足。建設場所も設計図面も確定し現地調査を実施したところ、殿村遺跡が発掘され、保存が決定したため、開校を二年繰り延べ、二十五年に現在の場所に建設され、四賀小学校が開校した。

二月七日に内川絵里奈さん（五常出身）のピアノ演奏が音楽村コンサートとして行われ、内川さんは、五回目となり、ねこふんじやった変奏曲などの他、狭間由香さんとの連弾演奏も披露されました。

さらに今年は、合唱団による歌と語りで綴った「音楽ものがたり 平和への願い」を披露させていただきました。これは、悲惨な戦後から国民の不断の努力により平和で豊かな毎日を送ってきました。そして昭和を送り、平成が過ぎ新しい元号を迎えようとしています。しかし、この暮らしは一朝一夕に成し得たものではなく、私達の父母、遠くは祖父母の並々ならぬ悲しみや苦しみを克服した賜であり、そのことを深く心に刻まなければならぬと思っております。そして今、私達はその事実を正しい歴史

内川絵里奈コンサート



四賀音楽村の未来

として後世に伝えなければならぬと感じています。世界に目を向ければ残念ながら戦いが続き、罪の無い多くの日本人もその戦いに巻き込まれることになつては大変です。

そんな中、私達は恒久の平和を願い、平成の時代に聞くことが意義ある事と考え、昭和を代表する「りんごの唄」から平成の「ふるさと／＼嵐」まで六曲をその時代の語りを交えた楽曲を行いました。

音楽村コンサートは、地区住民が企画し、開催をするものです。今後とも地区出身の音楽家の演奏会や音楽村村長の天満敦子さんのコンサートをを行い、音楽を通じて活力ある地域づくりを目指していきます。

今後とも地区出身の音楽家の演奏会や音楽村村長の天満敦子さんのコンサートをを行い、音楽を通じて活力ある地域づくりを目指していきます。

殿村遺跡とその時代IX 報告会・講演会



一月二十日に行われ、参加しました。

平成二十年から調査が開始され中世の寺院跡であろうとされています。

今回は、報告として、文化財課の竹原学係長が「地域の忘れられた歴史に光を当て、他の史跡を見直す契機になった」と遺跡の意義を話しました。

講演会として、京都国立博物館名誉館長の久保友康さんが古代から中世の山寺について解説し、殿村遺跡周辺にある平安時代からある山寺を基軸としての虚空蔵信仰が広まったという独自の説を紹介しました。

四賀の歴史に大きな意義のあるこの遺跡をどのように保存し、活用していくかを考えていくことが必要だと感じました。

スキー・スノーボード教室開催



一月二六日にスキー・スノーボード教室が開催され、四二名の親子が参加しました。

会場の爺ヶ岳スキー場は、気温は低いものの天候もよく教室日和となりました。

近年は、降雪量も少なく、冬季スポーツへの関心も薄くなってきています。しかし、冬場の体力づくりとして楽しんでもらいたいと思います。

◎第14回四賀地区◎

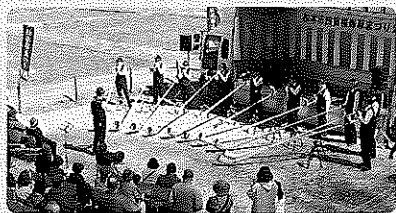
ソフトバレーボール大会結果

	一般の部	40歳以上の部
優勝	反町A	反町B
準優勝	刈谷原町 煌	殿野入G
第3位	なっちゃん	刈谷原町 杏
	IKARI 6	いたばりオーティス

毎年、春を呼んでいるソフトバレーボール大会ですが、今年も春本番の気候の中で熱戦が繰り広げられました。



福寿草まつり 2019 開催



「福寿草まつり2019」は3月9日～3月21日まで開催され、大勢の来訪者がありました。